



SOPHIA UNIVERSITY LIBRARY

上智大学図書館だより

No. 16

創立100周年記念号 (Vol.2)



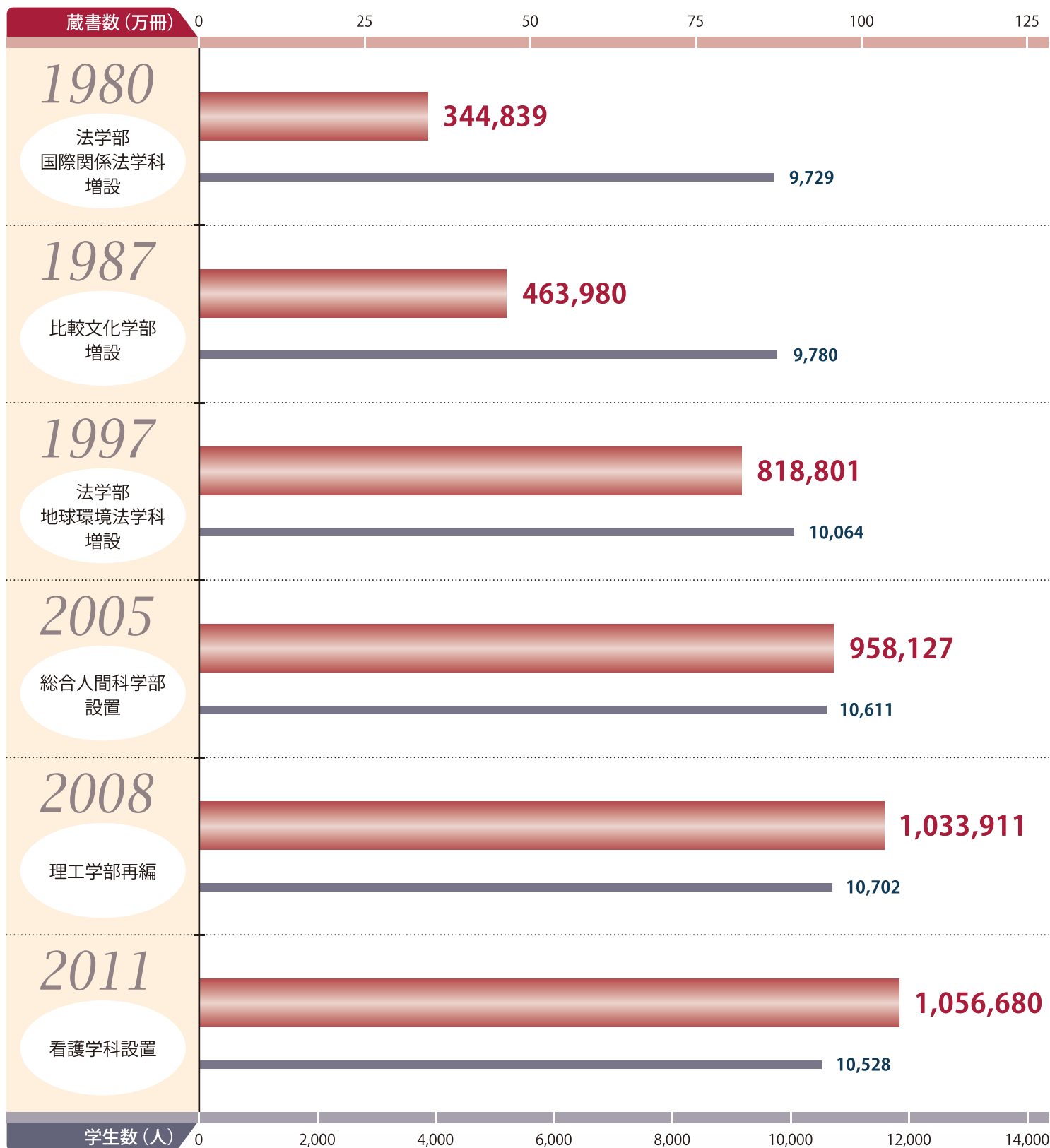
THE 100TH ANNIVERSARY MEMORY

数字からみる上智大学図書館の歴史

今号では、上智大学図書館の歴史を数字で振り返ってみたいと思います。

グラフでは、ここ30年で学科増設や学部再編が行われた区切りの年を取り上げました。年を経る毎に学生数が増え、そして蔵書数も格段に増えている様子が分かります。

蔵書数は2008年に100万冊を超え、それ以降も研究・学習に役立つよう、学術図書の積極的な収集を行っています。



SOPHIA UNIVERSITY LIBRARY THE 100TH ANNIVERSARY MEMORY

書架のようす ～今・昔～

1984

書架の下段にまだ余裕があることが分かります。

<地下・学部図書>



<上層階・専門図書>



現在

全体的に図書がびっしり詰まった状態になっているのが分かります。



雑誌・新聞のタイトル数も増えています！

ここまでは図書について触れてきましたが、中央図書館で所蔵している雑誌・新聞のタイトル数についてもご紹介します。

1984年度の雑誌・新聞登録数は、和書812タイトル、洋書1,441タイトルでした。2012年度末の雑誌・新聞登録数は、和書4,584タイトル、洋書6,783タイトルで、約30年の間にそれぞれ4-5倍以上に増加しました。



上智大学図書館の貴重資料紹介②:

Indiae orientalis insularumque adiacentium typus 「東インド、隣接島嶼図」

今回の表紙を飾っているのはアブラハム・オルテリウス (1527-1598) の名著『世界の舞台』に収録されている地図のうちの1枚、「東インド、隣接島嶼図」です。『世界の舞台』は1570年に初版(ラテン語)が出版され、上智大学図書館では1581年に出版されたフランス語版を所蔵しています。世界各地の地図を持ち運び可能な同一サイズにまとめ、しかも華麗な彩飾がほどこされた地図と解説文が一体をなすという構成は、それまでにない形態であり、「世界最初の世界地図帳」という評価が与えられました。

オルテリウスは、アウクスブルクの有力者一族の出身で、現在のベルギー北部に位置するアントワープで生涯を過ごしました。16世紀には世界最大の貿易都市となっていたこの地で地図彩飾と骨董取引などの仕事をしながら、多くの人物と交流を持っていました。南及び西ドイツ、フランス、イングランド及びアイルランド、イタリア等をビジネスで訪れたことも知られています。

この「東インド、隣接島嶼図」は、メルカトルの「世界図(1569年)」の影響を強く受けています。島嶼の描き方もまた、メルカトルに非常に似ています。顕著な特色は、それ以前の地図に比べて日本の形態が改良されていることです。ジャワ島の危険な南部海岸に関して、細部が欠如していることも注目に値します。この群島を完全に地図化することは困難であったので、この地域の地図はさらに一世紀もの間、不完全なままでした。

オルテリウスの初期の地図についてはその独創性の無さを指摘する意見もありますが、利用面をも配慮した当代地名と古典地名の相互索引を生み出すなど、近代地図帳の原型を作り上げた功績は誰もが認めるところです。

貴重資料の詳細な解説や画像情報は貴重資料データベースで見ることができますので、ぜひご覧ください。

貴重資料データベース URL http://libknwlg.lib.sophia.ac.jp/mcenter/cate_index.htm

上智大学ホームページからは、

研究情報・図書館 ▶ **図書館** ▶ **情報検索** ▶ **情報検索** **「上智大学貴重資料 DB」** で見ることができます。

参考資料：C. クーマン著；長谷川孝治訳。近代地図帳の誕生：アブラハム・オルテリウスと『世界の舞台』の歴史。臨川書店。1997
当館所蔵 学部図書(地下2階) 448.9 : Ko225



図書館だよりは、図書館ホームページ上でも公開しています。
これまでのバックナンバーもありますので、ご覧ください。

<http://www.sophia.ac.jp/jpn/research/lib/topics/dayori>



上智大学図書館だより No. 16

発行所 上智大学図書館
〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町 7-1
TEL : 03-3238-3510
FAX : 03-3238-3139
発行日 2013年7月1日
印刷 三鈴印刷株式会社
TEL : 03-5276-0811